



巻頭言 「令和になって」 眼科 いわぶち 岩瀨 しげひろ 成祐

今年令和に元号が変わり、30年前、昭和から平成に変わった直後に卒業試験、国家試験を受け、平成元年に昭和大学医学部眼科学講座に入局したことを思い出します。当時は医師臨床研修制度がなかったため、直接眼科学講座に入局となりました。今では労働基準局から指導を受けそうですが、緊急手術で夜まで手術を行い、その後飲み会と称する反省会に明け方まで付き合わされ、朝からまた診療するという1年間を過ごしました。指導医が外勤でいないときは此れ幸いと緊急手術が終わり次第帰っておりました。



1998年にはアメリカ・フロリダに留学する機会を得ることができ、アメリカでの生活も体験しました。当時すでにアメリカでは仕事は午後5時に終えて、その後は家族との時間を大切にする生活を社会全体で受け入れて行われており、日本では出来ない生活だと諦めておりました。しかし、昨今の日本での働き方改革で、その波がよいよ日本にもやってきたなという実感を得ております。昭和大学でも当然のことながら「医師の働き方改革」が始まっており、実際に残業時間の短縮が厳しく指導されるようになりました。3年前に江東豊洲病院へ赴任してからは、残業時間をいかに減らすかという事を考えてきました。江東豊洲病院では、土日週日化も行なっており、その中で現状と同じような働き方では、労働時間が増える一方で、新しい働き方改革を模索しております。幸い、現状では緊急の手術患者が東病院（旗の台）ほどは多くないため、残業時間はあまり増えずに済んでおります。今後、病床数の増加とともに手術件数が増えていくと思いますが、時間内で手術、診療をなんとかこなせるような体制づくりを考えていきたいと思っております。



眼科スタッフ
前列中央：岩瀨先生



昭和大学江東豊洲病院

第66号のトピックス

- 巻頭言「令和になって」（眼科）
- 「加齢と目の病気」（眼科）
- 薬剤部紹介
- 世界糖尿病デーイベントのお知らせ
- 第11回公開講座のお知らせ
- 「ご意見・ご要望」についての回答
- 編集後記

「加齢と目の病気」 眼科 いわぶち 岩淵 しげひろ 成祐

眼科では加齢による疾患が数多くあります。その代表は白内障、緑内障、加齢黄斑変性であります。特に私が専門としております加齢黄斑変性は、高齢化に伴います増加しております。この病気は一度視力が低下してしまうと、なかなか元には戻らず、字が見えなくなってしまう人も多くいます。原因としては、加齢が最も影響を与えておりますが、そのほか、喫煙、慢性炎症、緑黄色野菜不足などが挙げられます。予防としては緑黄色野菜の摂取、禁煙があります。この病気になってしまうと、私が医師になった頃はただただ見守っているしかありませんでしたが、15年ほど前より、目の中に注射をする方法で、治療ができるようになってきました。

治療ができるようになったとはいえ、進行してしまった状態では、そうすることもできませんので、早期発見、早期治療が大切になってきます。簡単に調べるには、パソコンでエクセルという表計算ソフトを見ると罫線がありますが、それが歪んでいるかどうかでわかる方法があります。歪みイコール加齢黄斑変性ではありませんが、他の病気が潜んでいることもあり、もしそのような症状があれば、眼科を受診する事をお勧めいたします。

薬剤部紹介 薬剤部長 たなか 田中 かつみ 克巳

■ 診療体制（業務内容）

薬剤師には、①薬剤部内での業務（処方箋に基づく調剤、市販されていない薬の調製、薬に関する情報の収集と提供等）、②外来や病棟での業務（入院や外来患者さんの薬による治療支援や服薬説明）、③教育（薬学生・卒後研修生）と大きく3つの任務があり、薬剤師25名が薬剤部で勤務しています。薬の供給・払い出しにおいては、薬剤師業務サポートのためSPD（Supply Processing Distribution）と呼ばれるスタッフ達と協力体制を築いています。

「患者さんの薬物療法に責任を持つ」を理念の1つとし、日々の業務は、入院・外来患者さんへの服薬説明、医師・看護師・医療スタッフ等への医薬品情報の提供、内服・注射薬の調剤、製剤（栄養輸液、抗がん薬）、あるいは医薬品の管理・供給など多岐にわたり、“くすり”に関わる全般的な仕事をしています。種々の業務を専門的に分けている病院もある中、当院では、ひとりの薬剤師がすべての業務に対し責任をもってあたっています。

■ 診療内容・特色

当院の院外処方箋発行率は99.9%（2019年3月現在）と医薬分業を推進し、後発医薬品使用を強力に推進しながら、入院・外来患者さんの薬による治療の後押しをしています。また、色々な薬の情報を解析して昭和大学としての推奨薬を検討し、その使用推進にも尽力しています。

薬剤師は薬学部「病院薬剤学講座」に所属する教育職員であり、薬学部の病院実習や卒後教育にも携わり、薬による治療に対する研究も推進しています。

「社会に貢献できる医療人の育成」を常に心に、病院理念「まごころの医療」の提供を心掛けています。



薬剤部スタッフ

前列中央 田中薬剤部長

世界糖尿病デーイベント開催のお知らせ



「世界糖尿病デー」 イベントのお知らせ

参加無料

血糖値の測定・健康相談
糖尿病に関するパンフレットの配布

日時：2019.11.14(木) 10:00~12:00

場所：昭和大学江東豊洲病院
1階ホール(タリーズ前)

*1~2か月の血糖値の指標となるHbA1c
(ヘモグロビンエーワンシー)も測定します!

糖尿病の初期には自覚症状がありません。
この機会に血糖値をチェックしてみましょ。う。
糖尿病の知識をもったスタッフが日頃の疑問や
質問にお答えします。

申込
不要

11月14日は
世界糖尿病デー

主催：昭和大学江東豊洲病院

糖尿病の発症を防ぐためには、また糖尿病を悪化させないためにはどうすれば良いのか、世界糖尿病デーを前に、糖尿病について正しい知識を身につけ、今できることを考えていただくために、「血糖値の測定・健康相談・糖尿病に関するパンフレットの配布」を行います。

日時：2019年11月14日(木)10時~12時

場所：昭和大学江東豊洲病院
1階ホール(タリーズ前)

内容：血糖値の測定、健康相談、
糖尿病に関するパンフレットの配布

その他：当日直接会場へお越しください(申込不要)

第11回公開講座開催のお知らせ

第11回 昭和大学江東豊洲病院公開講座 『暮らしと健康』

日時 令和元年 開演 14:00~16:30
11月16日(土) 演 受付時間13:45~

演題 「目の病気・膝の病気について」

「加齢と目の病気」

昭和大学江東豊洲病院 眼科 教授
岩淵 成祐



「膝の痛みの原因と治療 変形性膝関節症を中心に」

昭和大学江東豊洲病院 整形外科 講師
古屋 貴之



開催場所

東京都江東区豊洲 5-1-38
昭和大学江東豊洲病院 9階講堂

申込先 ☎03-6204-6000
お電話にて 昭和大学江東豊洲病院
申込ください 管理課

費用 無料

主催 昭和大学
後援 江東区



2019年11月16日(土)14:00より、
第11回昭和大学江東豊洲病院公開講座を開催致します。
昭和大学江東豊洲病院では、住民の皆様にはわかりやすく医療の知識を深めていただくために、公開講座を年2回開催しています。

受講を希望される方は電話にてお申込みください。
多数のご応募をお待ちしております。

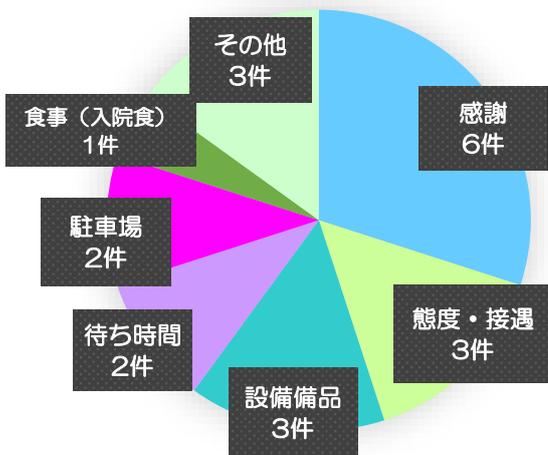
日時：2019年11月16日(土)14時~16時半

場所：昭和大学江東豊洲病院
9階講堂

「ご意見・ご要望」についての回答

ご意見・ご要望	回答・改善策等
給茶機の飲料用コップが出ていない。	この度はご迷惑をおかけしてしまい申し訳ございません。紙コップの残数が少なくなった場合は、都度補充するようにしておりますが、夏場など利用者が多い場合は一時的に切らしてしまう場合がございます。今後、同様のことが起こらないよう徹底してまいります。 回答部署：管理課
感謝	回答
看護師さん達の細やかな心遣いや温かい対応のおかげで、長い入院生活を気持ちよく終えることができ、心から感謝しております。また、ヘルパーさん達の気持ちのよい笑顔に何度も心を救われました。事務の方、清掃の方、配膳の方、入院病棟に携わる全てのスタッフに御礼申し上げます。	ご入院中には至らない点が多々あったにも関わらず、このようなお褒めの言葉をいただき大変感謝しております。スタッフと振り返りをしたところ、一同喜んでおり、大変励みになります。今後も医師、看護師だけでなく職員一同で良い対応ができるよう努力してまいります。引き続き患者さんのご希望に添えるような病棟づくりに励んで参ります。この度は感謝のお言葉をありがとうございました。 回答部署：看護部

令和元年8月分
ご意見・要望の内訳
総件数20件



ご意見・ご要望の推移



編集後記 薬剤部 柘植 縁理佳

運動の秋、地元の小学校では暑さ対策のために競技が減り、時間短縮になりました。また、近所への配慮として音楽の音量も小さくなりました。毎年のように賑やかな音が聞こえなくなり、なんだかもの足りません。母も同じ小学校だったのですが、昔は全校生徒で踊るフォークダンスがあり、好きな人のところまであと少し！とドキドキしながら踊ったものよ、と教えてくれました。最近では、ダンスが必修になっているため、生徒で振り付けを考えて披露しているそうです。時代の移り変わりによって、新しいもの、無くなるものがたくさんあります。運動会1つを取っても、その「時代らしさ」を垣間見れた気がしました。これからは新時代が始まります。令和ではどんな新しい変化があるのか楽しみです。



昭和大学江東豊洲病院 <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>

〒135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38

TEL03-6204-6000(代表)

発行責任者：笠間 毅 編集責任者：大槻 克文



昭和大学江東豊洲病院
Facebook ページ



Showa University Koto Toyosu Hospital